

いの は な ハーモニー

2019.9 vol. 57

TAKE
FREE

Harmony

千葉大学病院ニュース 人間の尊厳と医療の調和をめざして



医療人の教育体制

特集

循環器内科 特任講師 近藤 祐介

COMPASS 〓 医の探究者 〓

千葉大学病院
CHIBA UNIVERSITY HOSPITAL

表紙の写真

不整脈治療担当 臨床工学技士
アンギオ室でペースメーカーの操作
(詳細は裏表紙へ)



循環器内科 特任講師

近藤祐介

心臓のリズムが狂ってしまう「不整脈」。
心不全や脳梗塞などを引き起こすことがあります。不整脈治療で多数の治療実績を誇る当院の取り組みなどを聞きました。



子どもの頃に出会った
医師にあらがれて

医師を志したのは、小学生の頃です。喘息やアレルギーなどで通院することが多く、いつも心のどこかに不安を抱えていました。そんな私に医師はやさしく寄り添い、不安を取り除いてくれたのです。信頼できる人に診てもらおう安心感は、やがて医師への憧れに変わり、ごく自然に医師を志すようになりました。同じように自分も安心感を与えられる医師に…と思いながら毎日、患者さんに接しています。



日本人の身体に合った
ペースメーカーを開発したい

心臓って、単なる筋肉の塊ですが、脳からの刺激がなくても、自分で勝手に一定のリズムをとって動き続ける臓器なんです。実は、亡くなってしまうのは心臓が勝手に動き続けています。何より、心臓病は命に直結しますから、すぐに治療が必要になることも多く、研修医時代に「難しいな…でも、もっと勉強したい!」と学習意欲を刺激され、循環器内科を選択しました。

しかし、その後勤務したドイツのボン大学で、日本が最先端の治療器具の導入で世界に遅れをとっていることを痛感しました。患者さんの身体に植え込むペースメーカーもAEDを含む植え込み型除細動器(ICD・CRTD)も、今は外国製しかありません。でも、日本人には、日本人の身体に合ったものがほしい。これは多くの患者さんや医師の願いです。



不整脈から患者さんを守る 不整脈チーム

当院ではICD・CRTD（除細動器付きのペースメーカー）の患者さんに、遠隔モニタリングを使用して診療をしています。

遠隔モニタリングの仕組み

ICD・CRTDは、命に関わる不整脈の発作が起きると素早く反応して治療（電気ショック）を行い、突然死を防ぎます。

患者さん宅

ICD

遠隔モニタリング機器

※自動でデータチェック

自動的に
データを送信

自宅据え置き型

持ち運び型

データサーバー

病院



カンファレンスで遠隔モニタリングのデータをチェック



診察時にICDのデータをチェック

診療科の垣根を越えて連携 ハートセンター

心臓血管病の患者さんに対して、診療科の垣根を越えて最適な治療を行うため、2019年4月に設立。

関連する診療科・部からなるハートチームで治療方針を決定し、定期的に主要診療科の医師、看護師、理学療法士、薬剤部がカンファレンスを行っています。

プロフィール



循環器内科 特任講師

こんどうゆうすけ
近藤祐介

北里大学医学部卒業。2013年千葉大学大学院で医学博士を取得後、ドイツ・ボン大学で不整脈医として勤務。2015年千葉大学大学院医学研究院循環器病先端治療学特任助教。2018年同院不整脈先端治療学特任助教、2019年から現職。



患者さんの異常をキャッチ
医療チームが連携して対応

私の目標は、いつか日本製のペースメーカーなどを開発し、日本人による日本人のための不整脈治療を確立して、世界に最先端の治療として発信していくことです。

現在、心臓の筋肉（病気の組織）を焼くカテテルアブレーション治療では、従来の高周波電流を使う方法に加え、液体窒素で凍結する方法やレーザーを使う新しい治療方法があります。

除細動器などペースメーカーを使う治療では、「遠隔モニタリングシステム」を積極的に使用しています。患者さんが自宅など病院以外の場所で過ごしているときにも、危険な不整脈を起こした場合や電気ショック治療が行われた場合に、不整脈のデータが自動で病院に送信されるシステムです。患者さんに危険がある場合、医師と臨床工学技士、看護師が一体となって早期に救急対応を行い、突然死から患者さんを守っています。



育て！若き医師たち

先輩医師たちが熱血指導

特集：医療人の教育体制



練習し、実践し、振り返り、考え、練習する…

たしかな技術と高い志を持つ医師に。

総合医療教育研修センター長 教授 伊藤 彰一

医師は、どのようなプロセスで医師になるのか、ご存じですか。医学部で6年間学び、卒業後に医師免許を取得しますが、この時点ではまだ臨床行為や開業はできません。2年間、初期臨床研修を受けることが法律で義務づけられているのです。当院では、総合医療教育研修センターが初期研修医を含め、医療人の

育成に当たっています。シミュレーターを活用した実践型の研修や、教育専任スタッフの配置などにより、診療現場での課題解決に自ら積極的に取り組み、上級医の指導を受けて自らを振り返る。そして同僚たちとも切磋琢磨して、ともに成長していく、そんな教育環境をつくっていききたいと考えています。

シミュレーターで 納得いくまで訓練！

医師、看護師、薬剤師、療法士、検査技師など医療に関わるさまざまな人材が、それぞれに必要なとされる技能を習得する研修を行う「テイラーメイド教育」に取り組んでいます。



心音を
よく聞いて
病変に気づく
訓練です



鏡視下手術に
必要な基本手技を
習得



シミュレーターで
内視鏡を練習する
研修医



チアノーゼや
けいれん、気管狭窄など
急変対応の練習に使う
シミュレーター



クラウドファンディングのお知らせ

**シミュレーターが不足しています
あなたのご支援で
未来の主治医を育てよう！**

インターネットを通して寄附を募る、クラウドファンディングを計画しています。高度な先進医療を提供し続けるために、より良い教育環境は必要不可欠です。開始時には改めて告知させていただきますので、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。また病院寄付金によるご支援も募っています。詳しくは裏表紙をご参照ください。

研修医を見守り、支える教育専任スタッフ

アテンディングドクター制度

当院には、研修医を支え、育成するアテンディング（教育専任特任助教）がいます。各診療科で診療にあたる研修医に対して個別指導を行うとともに、総合医療教育研修センターでの研修医向けレクチャーや、個別面談などを通して助言を行っています。研修医にとって、最も身近で何でも相談できる、心強い存在です。



アテンディングは現在15名。14の診療科から選出し、診療科の枠を超えた教育を実施。



年間稼働日数330日以上！ 年間のべ3万人が利用する

千葉大学大学院医学研究院附属 クリニカル・スキルズ・センター(CCSC)

すべての医療専門職を対象に、系統だったシミュレーション技能教育（診療・ケア）を行い、医療の安全性と患者満足度を高める患者中心の医療の実現を目指した施設です。2010年に当院内に設置され、2012年2月より各種トレーニングに取り組んでいます。



病院内にあり、日々、医療従事者が学んでいます。



「がんおしゃべりサロン」を開催しています

「がんおしゃべりサロン」は、がん患者さんやご家族がお互いに病気や治療中の生活について話し合い、助け合うことを目的としています。入院中の方も、外来通院中の方も参加できます。興味のある方は、是非のぞいてみてください。



「気持ちが楽になった」と参加者から好評です。

開催日	
2019年	2020年
9月19日(木)	1月16日(木)
10月17日(木)	2月20日(木)
11月21日(木)	3月19日(木)
12月19日(木)	—
場所	
外来診療棟1階 患者支援センター内	

- ・事前申し込みは不要です。当日会場へ直接お越しください。
- ・いずれも開催時刻は、13時30分～14時30分(途中での入退可)です。
- ・宣伝活動、商品の売り込み、勧誘活動などはご遠慮ください。
- ・飲食物の提供はございません。ご自分の分のみお持ち込み可です。

外来診療棟1階正面入口に ドトールがオープン!

8月28日、外来診療棟正面入口に、ドトールコーヒーショップがオープンしました。

イートインスペースはゆったりとしたテーブル席とカウンター席のほか、テラス席もあり、全39席をご用意しています。

また中に入らなくても、テイクアウト専用の窓口もあり、利用者からは好評をいただいています。メニューも充実しているの、ぜひ、ご利用ください。



営業時間 平日 7:00～19:00 / 土日祝 9:00～18:00

ご寄附ありがとうございます。 車いすを購入しました

病院寄附金制度をご存じでしょうか? 患者さんなど個人の皆さまから昨年度、当院に総額27,758千円のご寄附をいただきました。心より感謝申し上げます。うち1,613千円は、診療科等を特定せず、病院運営やサービスの向上のために、とお寄せいただいたものです。よりよい医療の提供のために大切に使用させていただきます。引き続き、ご寄附のご協力をよろしくお願い申し上げます。



当院へのご寄附について詳しくはパンフレットをご覧ください。



Thank youステッカーが目印です。

地域全体で一人の患者さんを支えます

患者さんに適した医療や介護を提供するために、当院と医療・介護・福祉など各分野の医療機関や施設とが提携を結び、当院から提携施設に患者さんを紹介しています。当院に代わって引き続き、患者さんの診療・経過観察等を行うため、切れ目のない医療の提供が可能となります。

また、提携施設とは研修を通じ、情報共有や人材交流も密に行いますので、患者さんにとっても安心して転院することができます。地域の医療機関が一体となって、一人の患者さんを支えていきます。



提携医療機関制度による提携施設(2019年9月1日現在)

12
施設

- 三愛記念病院 ●三愛記念そが病院 ●平山病院
- 幸有会記念病院 ●最成病院 ●山王病院 ●稲毛病院
- 総泉病院 ●成田リハビリテーション病院
- 千葉県立佐原病院 ●季美の森リハビリテーション病院
- 千葉みなとリハビリテーション病院



「ソーシャルワーカーがいてくれて本当に心強い…」これが一番の褒め言葉です！



休日には同じ部署のスタッフとイベントに参加すること。先日はすい臓がん撲滅マラソンに参加しました。



患者さんが自分らしく生活できるように、一緒に考えています。

患者さんが自分らしく生活していく手助けを

ソーシャルワーカー 福原 諒子

Q ソーシャルワーカーの仕事とは？

患者さんは、病気だけではなく、家族のこと、仕事のこと、介護のことなど多くの課題を抱えています。それらを一緒に考え、これから安心して生活できるよう支援しています。より良い支援を行うため、院内、院外の関係者との調整をしています。毎朝、出勤したら、患者さんの状況をカルテで確認、申し送りやカンファレンスにも参加しています。

Q 千葉大学病院のサポートで「いいな」と思っているのは？

診療科の枠を越えて、緩和ケアチームや褥瘡対策チーム、栄養チーム、家族支援チームなど多種で患者さんをトータルサポートしているところです。しつかりサポートするためには、スタッフ間の情報共有は欠かせません。

Q 患者さんのサポートで大切にしていることは？

一人ひとり大事にされていることは違います。必要なサポートを考えていく上で、今までどのように生活されてきたのか、何を大事にされているのかお聞きすることを心がけています。初めは硬かった表情が少しずつ和らいでいく様子を見ると私たちも嬉しく思います。

Q 患者さんに向けてメッセージを？

病気になって不安なこともたくさんあるかと思いますが、少しでも安心して生活できるようお手伝いしますので、お気軽にご相談ください。



時間外出入口までご案内します

時間外および土日祝日には、こちらをご利用ください。



#正面玄関を向かって右に



#いのはなテラスに向かって渡る



#同仁会薬局を右手にまっすぐ



#駐車場ゲート前の横断歩道を渡る



#みなみ棟を正面にまっすぐ



#到着！ 守衛さんに声をかけて中へ

簡単調理で手軽に栄養補給

おかず蒸しパン

電子レンジで簡単にできる蒸しパン。病気の治療などで食欲が低下した方や少量しか食べられない方など、効率的に栄養補給をしたい方の食事や間食としてお勧めです。



Harmony ハーモニーレシピ Recipe

材料(マフィンカップ4個分)

- ホットケーキミックス 1/2袋(80g)
- ★卵 1玉 2個
- ★牛乳 大さじ3杯
- ★サラダ油 小さじ2杯
- プロセスチーズ小 4個(60g)
- ウィンナーソーセージ 2本
- さつまいも 1/8本(40g)

つくり方

- 1 さつまいもは1cm角に切り、水にさらした後、耐熱皿に並べ、ラップをかけて電子レンジで1分加熱する。プロセスチーズとウィンナーソーセージも1cm角に切る。
- 2 ★をボールに入れて泡だて器でよく混ぜ、最後にホットケーキミックスを加えて軽く混ぜる(ダマが残っているくらいでOK)。
- 3 1と2を混ぜ合わせ、マフィンカップに流し込む。
- 4 3のマフィンカップを電子レンジに並べ、上からふんわりとラップし、3分加熱する。竹串を刺して、何もついてこなければ、できあがり。

管理栄養士 からの ひとこと



約1/2食分のエネルギーとたんぱく質を補給できます。

臨床栄養部 立麻志保

参考栄養価(1個分)

- エネルギー: 235kcal
- たんぱく質: 10.3g
- 脂質: 12.6g
- 糖質: 18.6g

※ご病気の種類によっては、お勧めできない場合があります。お食事や栄養についてお困りの場合は、主治医にご相談のうえ管理栄養士による栄養相談を受診してください。

表紙の人

臨床工学センター
臨床工学技士
細谷 裕一さん



臨床工学技士は、医療機器の操作・保守点検を行う、「命を守るエンジニア」。私は患者さんとのコミュニケーションを大切にしています。医師と話し合いながら、患者さん一人一人に見合ったペースメーカーや人工呼吸器の設定を行っています。



千葉大学病院からのお知らせ

15歳未満でも、座って採血できる方は、 中央採血室で採血できるようになりました

小児科・小児外科を受診している15歳未満の患者さんは、これまで診療科外来で採血を行っていましたが、採血中一人で座って採血ができる方は、中央採血室(外来診療棟2階)での採血が可能となりました。検査の際は1階ホールで再来受付を行い、2階の中央採血室にお越しください。

- 成人と同様に受付し、お待ちいただきます。
- 中央採血室での採血が難しい場合は、診療科外来に変更となる場合があります。



インターネットで寄附ができるようになりました 次の患者さんのために役立てて

無事に治療を終えて退院される際に、「次の患者さんのために役立ててください」と寄附をいただくことがあります。寄附金は医療機器や研究開発、人材育成に活用させていただきます。本当にありがとうございます。今後も高度で安心・安全な医療のため、広く寄附によるご支援をよろしくお願いいたします。クレジットカードもご利用いただけます。▶



お問い合わせは
こちら

研究推進課寄附金担当
043-226-2729(直通)